

千葉経大新聞

第57号
発行

千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111(代)
FAX.043(254)6600
http://www.cku.ac.jp

1000年楽しみましたければ 人を育てよ 学長 佐久間勝彦



辞の中で「1日楽しみましたければ花を活けよ、1年楽しみましたければ花を植えよ、10年楽しみましたければ木を植えよ、1000年楽しみましたければ人を育てよ」という、中国の古典「管子」にある教えをアレンジして紹介した。

もし1日を楽しみましたければ、花屋に行つて気に入った花を買ってきて花瓶にいければいい。花は部屋を明るくして、私たちの気持ちをなごませてくれる。1年を楽しみましたらば、花壇に種をまき水を遣つたりして芽が出て花が咲くのを待ち焦がれる日々を過ごし、咲きほころぶ花のいのちをいっしょに楽しむ。

10年を楽しみたいと思うならば、苗木を植えて育てる。か細い苗木は年を経るたびに太くなって、枝を伸ばして葉をつけて花を咲かせていく。

その生長の時間に自分の成長を重ねて、青々と茂ることにした樹を見上げたい。

しかし、もっと長く1000年も楽しみたければどうしたらいいだろう。管子は「人を育てるに限ると教えてくれる。

学園は昭和8年に創立されて今年83年を迎え、間もなく1000年となる。高校・短期大学・大学を卒



業した同窓生は7万名を超えていて、社会の各分野で活躍を遂げている。「片手に論議片手に算盤」を建学の精神として、人としての倫理・道徳と生活の糧となる専門性を兼ね備えた人材を育成する。それが開学にあたっての使命であった。

このように学園が隆々と発展して、これほどに多くの同窓生が育つて様ざまな分野で花を咲かせてきていることを、創立者の佐久間惣治郎は心から喜んでいるにちがいない。ちなみに、惣治郎の菩提寺は千葉氏を祀る大日寺で、大学の校舎をすぐそばで仰ぎながら眠っている。

この春、「算盤の珠」を象徴する学園のシンボルマークが制定されたが、珠の中央の右肩上がりの対角線は、未来を限りなく切り拓く学園の発展を象徴している。短期大学部と一体化し、コース制を活かしたカリキュラムツリーのもとで経済学・経営学の学びに拍車をかける千葉経済大学である。



親子就活スタートアップセミナーについて

平成28年9月7日(土)「親子就活スタートアップセミナー」が、多くの方々のご協力のもと開催されました。主として半年後に就職活動を控えている3年次生及びその保護者の方にお越しいただき、総勢145人が参加されました。ご多忙にもかかわらず、ご参加されました皆様、心から感謝申し上げます。

当日は、企業の採用ご担当者様及び4年次生の就職内定者から就職・採用活動の現状を明らかにしていただき、親子でその実態を共有すること、より一層理解を深めていただくことを趣旨としています。この度は、米屋株式会社 人事教育課長 鷲透様、新明電材株式会社 執行役員 中村進様をお招きし、「企業が求める人材像」と題して講演いただきました。

また、「就職活動体験談」を充実した就職活動を行った、秋山いぶきさん、福原陸さんから発表してもらいました。各視点から、3年次生が知りたいこと・知っておくべきことについて具体的なお話がありました。これを機に3年次生の皆さんは、就職活動の準備を行ってください。まずは、将来について親子で話し合っていたら幸いです。



2016春季の学内施設改修

■事務局のレイアウトが変更されました

短大移転にともない大学の既存施設についても改修が行われていきますのでご案内いたします。

○学生サポートセンターA

今までカウンターにガラス戸の窓口となっていた大学事務局を大改修。学生と職員のコミュニケーションがとりやすいようにオープンカウンター式の解放的なスペースと

○その他の施設

学生サポートセンターAの設置に伴い、「庶務課」「情報企画戦略室」「入試広報センター」を同室とした事務室を1号館1階に設置、老朽化していた1号館の空調もすべて

リニューアルしましたので、授業教室の快適性も向上しています。

また、大学保健室は、短大保健室と統合し「保健センター」として短大棟内に設置されベッド3床のほか個室の相談室を3室設置しています。

このように大学では、電気設備、衛生設備、空調等老朽化した部分の更新と、学生の快適性・利便性向上のため順次施設の改修と設備のリニューアルを行っています。



第1回課外活動団体リーダーズミーティング夏合宿 SCKUサミットを終えて

平成28年9月7日から8日に課外活動団体の代表と部の下級生が集まり、千葉県長生郡長柄町にある「リソル生命の森」にて第1回リーダーズミーティング夏合宿SCKUサミットを実施しました。学生部では、毎月1回リーダーズミーティングを実施し、課外活動団体の活性化とその組織力強化を目指してい



ますが、今回は1泊2日の合宿により団体の絆を超えた研修とコミュニケーションの機会をもつことにしました。両日にわたって学生達は、①広い敷地内をチームで巡りポイントを競うフットオリエンテーリング、②桃崎学生部長、栗沢経済学科長、奈良非常勤講師の3名の教員による講義(リーダーシップ論、フオロワーシップ論、コミュニケーション論)、③KJ法を使った課題整理とプレゼンテーションを行うグループワーク、④参加学生全員による自己紹介とコミュニケーションスキルを高める実技、⑤母校をより知るための千葉経済大学検定試験、⑥校歌練習などに取り組み、能力向上や参加者の輪を育むための研修を受けました。

研修だけでなく、バーベキューや懇親会なども行い、

プログラムの毎に班のメンバーをシャッフルし、参加したリーダー同士の関係を幅広く深め、全員を「輪」にしておくことができました。宿泊を伴った研修を課外活動団体リーダーが行ったことは、本学初の出来事であり、実施する教職員側も手探りで行った合宿でした。参加した学生からは「研修は大変ではあったが、他団体の部員との交流ができた刺激になりました。来年実施するの

父母の会会報

父母の会会長挨拶

本橋隆司



日頃より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、父母の会役員ならびに事務局一同より厚く御礼申し上げます。

この度、5月に父母の会総会にて平成28年度会長に再任する事となりました。本橋でございます。よろしくお願いたします。

千葉経済大学懇談会の開催

教授 高屋 和彦



9月17日(土)、毎年恒例となつての父母の会主催の千葉経済大学懇談会が本学で開催されました。

懇談会は、日頃大学に來られないご父母の方々の親睦を深めるとともに、学生が通っている大学を知っていた

ただき保護者と教職員が直接懇談し、さまざまな教育環境や就職情報の変化を把握してもらい、日頃の悩みや疑問を聞いて頂くため個別懇談会を開催して、毎回多数の方の参加していただいています。

また、本年度も会員相互の親睦を図るために学園祭へ積極的に父母の会として参加し、大学と従来以上に密接な関係を持ちながら活動して行くと考えております。

「昨日に感謝。今日は反省。明日へ希望。」をスローガンに毎日を繰り返して生活するのではなく、積み重ねて過さず事で父母の会の運営に携わってまいります。不備なところ多々あると思いますが、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

簡単にございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

だく機会を設けるため、毎年開催しています。最近の就職状況などを知る良い機会でもありますので、ぜひご参加ください。また、ご父母の方々に直接お会いするこの機会をとらえて、ご父母・学生とクラス担当教員の個別面談を実施しています。

個別面談では、前期に実施された定期試験の結果をもとに、成績表の見方や単位取得の状況、進級要件が説明されます。卒業には、4年間で計画的に授業科目を履修し単位を取得する必要があります。ご父母の関心も高いものがあります。また、面談では、今後の勉学状況はもとより、クラブ活動や就職活動その他あらゆる学生生活全般についても話し合われています。ご父母にとつては、学生の大学での勉強や学生生活などの取り組みがよく分ります。さらに、クラス担当教員にとりましても、個々の学生の家庭での状況がつかめ、今後の学生指導に役立てています。

同窓会会報

平成28年度

同窓会定期総会・懇親パーティー報告

恒例となりました同窓会の定期総会・懇親パーティーが、去る平成28年7月30日(土)に開催されました。昨年度に引き続き、会場は千葉経済大学内の学生ホールです。

定期総会・懇親パーティーには、総勢60名の方が参加してくださいました。ご家族連れ、お子様連れでの参加もいまして、楽しい時間を共有できたのではないのでしょうか。さて、総会は鹿島会長のあいさつに続き、議事から始まります。

第一号議案

平成二十七年決算について

第二号議案

平成二十八年度予算について

第三号議案

同窓会各種補助金について

第四号議案

役員選任について



の現役学生から現状などを語ってもらいました。各テーブルは各年代の同窓生が集まり、学生時代や現況についての話題が飛び交い、会場の盛り上がりには花を添えていました。さらにイベントとしてプロのマジックショーが行われ、参加者全員が楽しく過ごしました。

あっという間に終了時刻、今年度の総会は盛会のうちに終了しました。来年度はもっとたくさんさんのOB・OGとお会いしたいと思います。同窓会総会は毎年7月の最終週をめどに開催しております。小さなお子様連れでも、会場内にキッズコーナーを設けておりますので、「次回こそは」と思われている方、ふるってご参加ください。



卒業生紹介

平成9年3月 経済学科卒業 細川 壮



創立から間もない当時は、「何でも自分たちでやる! 創る!」という活気に満ちていました。そんな環境にあって当然のように「アメリカンフットボール部」を創設し、リーグ加盟までは叶わずも、

定年まで一社に勤めるのではなく、「自分がやりたい業界」に入るとい考えです。実は私は3回転職していますが、それぞれ各社での仕事は全て「広告」に一貫しております。新卒入社したのは、中堅の老舗総合広告代理店でした。販売促進の企画・運営をする部署に配属され「観光地の集客イベント」や「新製品発売キャンペーン」のトータルプランにも携わりました。これらの仕事には、部活や大学祭での経験が活かすように思います。そして、1度目の転職で出版社のインターネットビジネス新規立ち上げに参加することができ、そこから

見方を変えれば、大企業の一部門にいるより、ベンチャー企業にいる方が、会社運営全体が見えたり、携わったりします。営業が本務だとしても、総務、人事、経理、法務など様々な業務を少しずつ経験できたりします。そうやって、本当に自分にあった職種を見つけられるかもしれません。これは、本学のモットーでもある「Small is Beautiful」に通じる考えかもしれませんね。最後になりますが、皆様がいい経験をして、様々な業界に羽ばたき、ご活躍されることを願っております。頑張れ! 千葉経済大生!

博物館員 博学芸課程

館園実習報告

経済学科3年 鳴海 拓也

8月25日と26日、博物館館園実習に参加しました。

25日は、地域経済博物館で古書籍の整理を行いました。倉庫から新聞紙に包まれた埃だらけの書籍を搬出し、清掃して番号を付す作業ですが、実際の歴史資料に触れるのは初めてだったので、新鮮な印象を受けました。

26日の午後からは、千葉県立中央博物館へ伺い、一般観



覧者が立ち入ることのできないバックヤードを特別に見学させていただきました。収蔵庫の資料の数は膨大でしたが、温湿度管理も行き届き、丁寧に保管されており、次世代に資料を伝える事の重大さが理解できました。座学とはまた違い、芸芸員の仕事の大変さと素晴らしさを実際に知ることができた有意義な2日間でした。

教育実習を終えて

経済学科4年 鷹本 翼

6月6日から6月24日の3週間、私の母校である高校へ教育実習に行きました。3週間は長いようで短く、学びや発見がいくつもあり、あっという間に最終日を迎えました。

最初の授業では40人近くの生徒を前に、緊張から手が震え、入念に準備していたはずが、結果はボロボロになり、生徒に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。先生達からアドバイスをいただき、夜遅くまで残って授業の準備を繰り返しましたが、満足のできる授業は一度とてなく、授業の難しさに、心が折れそうになりました。それでも生徒達から「鷹本先生」と呼ばれれば、力が湧いてきました。実習中、なかなか自分から声をかけられずいたら、生徒から声をかけられ、徐々に生徒との距離を縮めていくことができました。

実習最終日に、生徒からのメッセージが黒板に書かれてあり、胸上げもしてもらい、



感激して泣きそうになりました。この実習を通して様々なことを学び、新たな目標を持つことができました。それも、実習を受け入れてくださった母校の先生方、大学でお世話になっている先生方のおかげです。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございます。これからも新たな目標に向かい、経験を活かし、日々努力していきます。

調査実習報告

考古班

経済学科3年 大須賀聖稀

私たちは芸芸員過程の履修に伴い、実習として千葉県いすみ市の坂水寺へとお伺いしました。ここでは担当の野中先生に師事し、墓石や石仏、その拓本・法量と呼ばれる作業を行います。不慣れた作業でしたが、先生の指導の下、回数をこなして上達していき



ました。墓石や石仏に直接触れ学ぶ機会は滅多にありません。芸芸員を志す学生達にとって、こういった機会は大変貴重なものです。この経験により活かすべく、普段の勉学にも繋げたいと思います。

歴史班

経済学科3年 石橋沙也花

9月の13、14日の2日間調査実習を行いました。

そのうち私は13日に歴史班で勝浦市役所へバスで行き、貴重な資料である古文書を実際に読む体験をさせていただきました。1年前に古文書の授業を受けていたので多少は読むことに自信があったので



すが、思っていたよりも書き癖が強く、解読に苦労しました。分からない文字は先生に教えてもらい、始めた時よりも読める量が増えたように感じます。

この日の実習では、学校の授業では体験できない実物の資料を読むことができたため、実際の文字の解読のコツを学べたと思います。

千葉経済大生が大活躍

千葉の親子三代夏祭りにて ボランティア活動を行いました

千葉市では、毎年8月中旬に千葉市中央公園を中心として「千葉の親子三代夏祭り」が開催されています。このお祭りには千葉市内をはじめ、県内・県外からも多くの方々が来場し、今年度は36万人の人が予想されていました。

この大きなお祭りに本学学生及び教職員が20人以上、ボランティアスタッフとして主催する千葉市に協力しました。

夏祭りのメイン会場となった中央公園には数多くの屋台が出店しており、飲食をされた来場者が捨てるごみが適切に分別されるよう、「ごみ分別ナビゲーター」としてごみ分別の呼びかけを行うとともに、会場内に散らかったごみの清掃活動を行いました。

また、メイン会場である中央公園周辺の大通りが歩行者天国となり、11団体のパレードが繰り広げられました。本学学生たちは、パレードに参加する団体の先頭に立ち、パレードが円滑に行えるよう出発地点からゴール地点まで誘導を行いました。パレード誘



導の仕事は、パレード出発前から控室にいる参加団体の方々を所定の場所に集合、整列してもらい、千葉市の職員からの指示を的確に伝えるという仕事も行いました。

参加した学生たちは、真夏の炎天下の下、汗まみれになって懸命に頑張っていました。活動はわずか半日でしたが、夏祭りに来場した多くの方々から「お疲れ様です」「ありがとうございます」とかけられる言葉の温かさ、言葉の重みを痛感したとのことでした。

ビーチ・ハンドボール大会に参加して

昨年、11月に「スポーツを楽しむ会」から有志で誕生したハンドボールチーム14名で千葉県南房総市富浦の海岸にて毎年8月に開催されている「ビーチハンドボール大会」に参加しました。

ビーチ・ハンドボールは、日本の富浦海岸が発祥の地で、まだ20年程の新しい競技種目です。2002年、秋田の本庄市海岸で国際ハンドボール連盟主催の第1回世界大会が開かれ五大大陸代表プラス日本の男女で行われました。本大会は千葉県の他に茨城、神奈川県で始まっています。

コートは、長さ27m、幅12mの長方形で一つのプレイングエリアと二つのゴールエリアで構成されています。

競技時間は10分、5分(休憩)、10分、同じチームが両ハーフとも勝った場合2ポイントが与えられ勝者となり10名)のチームは、8名(今回最大4名のプレイヤー)(3名のCPと1名のGK)がコートに出場出来ます。残りのプレイヤーは、交代地域に残り得点は、通常のゴールの場合一点ですがキーパーによるゴール、PK、スカイプレーなどは2点になります。

この競技の楽しい所は、床が砂地であること、雨風などの自然が影響することです。

学生たちは、これらの特性やルールも備わらない状態での挑戦でした。

月2回程の練習しか出来ず、また5月までハンドボールを練習していません。土日には高校生とのハンドボールの練習試合、交流練習を何回か繰り返して来ました。しかしながら本学の体育館の使用状況、環境、場等を熟考するとともにこの状況でハンドボールの各大会、大学連盟等に加盟する事は難しく思われました。また、それは学生たちも感じていました。そこで、目標、目的なく練習するのも空しいので十日程前に携わって



いたビーチハンドの大会を思い出し、参加してみないかと提案したところ全員一致で決まった訳です。

学生たちは、今までに聞いた事体験した事なかった種目、はだし、砂地、海という解放感、ハンドボールの経験がなくても出来るというイメージだったようです。

大会が、8月初旬という事で郷里に帰る学生もおり10名が参加しました。大会前日に富浦入りし、大会の準備(テント張、防球ネット張、会場役員、高校の先生方の手伝い等)、海岸の美化と本学の学生は、率先して手伝っていました。コートは、4コートが浜に設置されました。

練習試合もやりました。3日程前から今年度の全日本メンバーが合宿しており監督が元チームメイトであった事から無謀でしたが練習試合をしてもらいました。当然、メタメタにされました。しかしながら学生たちは、めげもせず試合後、自分達で輪を組み明日に向けての反省会をしてい

たのは驚きました。

それを役員の高校の先生達が驚いて知らせてくれたので「さすがは大学生」

それ以降本学のチームを応援してくれていました。今年度の全日本チームが彼らのビーチ・ハンドボールの初試合となりました。

結果は、全敗でしたが競った試合もあったことから、個々の学生が満足いく大会であったようです。

大会終了後、学生たちは来年に向け意欲満々でした。組織づくり同好会にすること今



私にとっても、旧知の方々と話をしたり、次代を担う精鋭のみなさんの姿を目の当たりにする機会を得られ、有意義な大会参加となりました。

今後、いっそう横のつながり、縦のつながりを太く築き、人としての成長の手助けの一つになればと考えています。

顧問の先生、生徒という関係を忘れて友達感覚で接することができ、話は弾んでいくばかり、明日が初の公式戦であっても殺伐とした空気は流れておらず、チームが打ち解けていました。

・試合の雰囲気

(2年：黒川光司)

初めての公式的な試合だったので慣れない事やわからない事も多く少し緊張しました。しかし、試合中は、最初の緊張など忘れて、みんな一生懸命がむしやらに元気よく声を出してとてもいい雰囲気でした。

・大会の雰囲気

(2年：田刈子隆太)

2日に渡って行われた大会は男女年齢、経験者初心者問わずたくさん選手が参加しました。試合は、選手全員が本気でビーチハンドに取り組み中で笑い、喜び、悔しい表情なども多く、とても楽しく明るい雰囲気でした。

学生たちは、この夏休み期間中にすでに練習を開始しています。

インターンシップ報告

千葉北警察署

経済学科3年
渡貫 瑠美

8月31日～9月2日の3日間、千葉北警察署のインターンシップに参加いたしました。

実際に参加したこと、これまでのイメージが変わったり、将来こうなりたいと思えることが数多くあって、実習は楽しく充実したものでした。



中でも興味深かったのは鑑識での実習です。指紋採取に砂鉄と磁石を用いる方法、ウサギの毛のボンボンを使う方法の2種類を体験しました。指紋がないと物を持つことが出来ないという事や指紋は人それぞれ全て異なるという事が奥深いと感じました。似顔絵は、特徴を掴み誰が見てもわかり易いように描くことがコツで、担当の方は有名人で練習しているそうです。



また、県警本部通信指令室、交通管制センターの見学では約20人の方がモニター、パソコンを前に無線で指令を出しているのが壮観でした。

1日の110番通報件数は平均1260件もあるそうですが、緊急度の低いものも2割程度含まれているというのが驚きでした。

3日間を通して、公安としての仕事に改めて正義感を覚え、他の職場にはない魅力を感じました。警察署の方々は優しく熱心で、挨拶は当然ながら、声量や礼儀がしっかりしていました。私の想像していた以上に一つの業務に大きな責任があり、普段の生活から自立することや周りのコミュニケーションに気を配ることが大事であることを学びました。残りの大学生活を大切に、勉強や日常生活を後悔のないようにしていきます。

第29回 大学祭

開催のお知らせ

平成28年
11月12日・13日

大学祭実行委員長 挨拶



経済学科2年 柏熊 綾音

今年も11月12日(土)、13日(日)に千葉経済大学祭の開催が決定しました。今年の大学祭のテーマは「新米」

これは新しく(人や物が)来るという意味であり、短期大学の新校舎が同一キャンパスになったこと、さらに今までいらなかったことのない新規のお客様にご来場頂きたいという思いを踏まえ、これしかないという思いで意見を出し合い決定しました。

今回、初の同一キャンパス内での開催ということで、初めてのことが多く手探りになってしまいました。はじめ、先輩方や参加団体やゼミの方々、短期大学の実行委員会、地域の方々のご指導ご協力を頂き、当日への準備が着々と進んで参りました。様々な部分で困っていた私たちに手を差し伸べ、共に考え助けて頂いた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて御礼申し上げます。



昨年度の風景

就活 体験講座

就活体験講座「これが就活だ！」とは、キャリアセンターが主催する1～3年次生を対象とした就職支援プログラムの一つです。(例年11～12月にかけて実施)就職や就職活動に対するイメージをはっきりしたものにして、今後の準備を充実させることを趣旨としています。

当講座が他と著しく異なる点は、大学内で行うのではなく企業に出向き受講するところです。業界別に設けた企業から、学生自身が希望業界を



選り、スーツを着用し、企業に訪問いたします。また、プログラム名のとおり実際の就職活動しながらの内容を実施しています。業界説明、会社説明、適性検査、作文、面接、グループディスカッションなど、各企業が過去に実施した選考試験を実体験し、その後フィードバックが行われ



ます。そこで知った自身の強み・弱みに取り組むことが重要となります。

学内での座学だけではなく、足を運ぶことで多くの人と出会い、それまで知らなかった新たな世界を広げる絶好の機会となります。

課外活動団体 活動報告

硬式野球部リーグ戦速報

本学硬式野球部 史上初の成績で 1部残留

私たち硬式野球部は春季リーグ戦1部にて入替戦に勝利し、千葉東大学野球1部リーグ残留となりました。

第1節は全日本大学野球選手権で準優勝を果たした

できるような、頑張りますので昨年いらっした方も、そうでない方も、ぜひご来場ください。

皆様のお越しを学生一同、心よりお待ちしております。

強豪、中央学院大学との試合となりました。1戦目、2戦目共に相手投手を中々打ち崩すことが出来ず、2連敗で勝ち点を落とすことになりました。

その後も第2節目の城西国際大戦、第3節目の国際武道大戦共に粘りを見せませんが、連敗してしまっている形となってしまうことになりました。

第4節の敬愛大戦は勝ち点を取ったチームが残留に大きく近づき試合となり、一度チーム一丸となり、絶対に2連勝で勝ち点を、と奮起し2試合共苦しい試合展開となりましたが、持ち前の粘り強さで見事勝ち点1を取ることが出来ました。

そして最終節の東京情報大との試合は1勝でもすれば残留が確定する大事な試合。1戦目は敗れたものの、2戦目は大勝、3戦目は5点差をひっくり返し逆転勝利で2つ目の勝ち点を取ることが出来ました。

1部リーグでの勝ち点2は史上初であり、これはチーム

が団結し、6連敗でも粘り強く泥臭く諦めずに勝利に向かっ全力で戦った結果だと思っています。今回のリーグ戦では序盤から思うような試合運びが出来ず、投手が粘りを見せるものの、1点が遠くチームの雰囲気も良いものではないかと思えます。

しかしそこで上級生が盛り上げ、下級生が押し上げ絶対1部に残留するんだという気持ちが一瞬になったからこそ、良い結果に繋がったと思います。

これから来春のリーグ戦に向け新チームが始動しますが、1部定着と共に上位を目指し、決して飾らず泥臭く鍛錬して、皆様に良い報告が出来ますよう頑張っていきたいと思います。応援のほどよろしくお願致します。



準備式野球部

部活動に昇格!!

この度、私たち硬式野球部は同好会から部活動に昇格しました。部活動に昇格するにあたり、学務課や先生方をはじめとする関係者の方々にも多大なご支援や指導をいただきました。ありがとうございました。

部活動に昇格したからには、日頃の活動や、行事などより一層力を入れ、私たち硬式野球部と千葉経済大学の活性化に繋がるよう努めていきたいと思っております。

創部1年目にして、東

都準硬式野球春季6部リーグ戦で優勝し昇格しました。昇格した後に行われた東都準硬式野球秋季5部リーグ戦では、3戦中3勝でリーグ内トップの成績を残しています。残る2戦も勝利し、5部でも優勝できるようなチーム一丸となっていきたいと思っております。

これからも引き続き私たち準硬式野球部の応援よろしくお願致します。

人事異動

- 【教員】
 - 退職(平成28年8月31日付)
 - 片岡 光彦 教授
 - 採用(平成28年7月1日付)
 - 坂倉 典子
 - 大学・短期大学部事務局大学学務課看護師(嘱託)
 - 梅沢ルミ子
 - 大学・短期大学部事務局大学学務課看護師(嘱託)
 - 森 裕子
 - 千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部事務局大学学務課看護師
 - 退職(平成28年5月8日付)
 - 坂倉 典子
 - 大学・短期大学部事務局大学学務課看護師(嘱託)
 - 兼務発令(平成28年4月18日付)
 - 榎田 豊
 - 法人事務局会計課課長補佐兼務